



震災から6年が経過し、北海道に住んでいるとなかなか復興の進み具合を感じる機会が少ないかもしれません。そこで、今回は岩手県沿岸南部をご紹介します。

山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市を国道45号線を主に走ってきました。沿岸部を走っている印象は、土砂を積載したトラックの往来がまだまだ多いことでした。嵩上げ工事でも進んでおり、防潮堤の工事も着々と進められています。

釜石市では、釜石東中学校、鶴住居小学校が移転新築したり、ラグビーワールドカップ開催に向けて釜石鶴住居復興スタジアム(仮称)を着工したりと、復興が目に見える形で進んでいる印象でした。また、震災の教訓を伝えるために遺構として残している建物も多く存在していました(大槌町役場の解体については当面凍結)。



▲釜石市沿岸部の防潮堤工事風景。穏やかな海が広がる景色は、かなり高い場所からしか眺めることが出来ない。

嵩上げ工事が整いつつある陸前高田市では、10mほど嵩上げをした新たな市街地に、大型商業施設「アバッセたかた」が4月にオープンしたばかり。図書館も併設されており、新たなまちづくりの中心として市民の皆様が憩いの場として集うことを祈念してその場を後にしました。



▲高台に移転した釜石東中学校(釜石市鶴住居町)



▶かさ上げした市街地にオープンした大型商業施設「アバッセたかた」(陸前高田市)

同じ4月には、隣の大船渡市でも仮設商店街から移設した店舗も多く集まっている「キャッセン大船渡」がオープンしていました。飲食店は仮設店舗から移動オープンしており、訪問した前日にオープンしたお店もありました。一歩ずつ、着実に街づくりが進んでいて、何よりも、本当に大勢の方が復興に携わっているのを感じました。



▲JR大船渡駅周辺地区にオープンした商業施設、キャッセン大船渡。仮設商店街から移設した店舗も多い(大船渡市)

全国避難者
情報システム

ふるさとネット の登録について

この情報紙からからは「ふるさとネット」の登録情報より発送しております

「ふるさとネット」に登録していると北海道からのお知らせや、教育・福祉・医療に関する相談のご案内といった情報を提供いたします。

転居、登録解除、定住の場合はご連絡ください。

- 引越しなどで住所を変更された方→住所変更
- 避難元に帰還される方→登録解除
- 道外へ転居される方→登録解除
- 道内に定住される方→登録解除

【連絡先】

- 避難先の市町村の窓口またはお電話で。
- 北海道総合政策部地域創生局
地域政策課 道外被災地支援グループ TEL.011-204-5800
メール/shienhonbu@pref.hokkaido.lg.jp
- 北海道広域避難アシスト協会 TEL.011-375-0521

※住民票の異動、郵便局への転居届等の手続きとは異なり別途手続きが必要になります。

お問い合わせ先

北海道総合政策部 地域創生局 地域政策課
(北海道道外被災県・避難者支援対策本部事務局)
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目道庁本庁舎4F
電話 011-204-5800 FAX 011-232-1053
※道では全国避難者情報システムの呼称を「ふるさとネット」としています

※お預かりした個人情報は、避難者の支援のために利用するほか、避難先都府県への提供など、限定した目的のみ利用し、その他の目的には一切使用いたしません。